

ハンケイ

5m

VOL.
16

手をのばせばすぐふれられる。そんな世界を知るマガジン

社会福祉法人南山城学園
岡崎貴志さん

株式会社アドナース
鎌田智広さん

FEATURE

ikitoko+ikoプロジェクト

ハンケイ5m 和文化おもてなし隊
ハイヒール・フラミンゴ

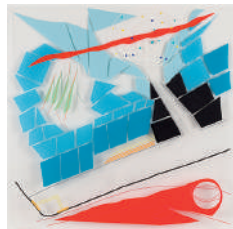


ADNURSE

union.a

COVER ART OF HANKEI5m

今号の表紙アート



作品名「路地を通り抜けると」



作品名「竹のリズム」

みつまたかゆき

光島貴之さんの作品

今号の表紙アートは、美術家 光島貴之さんの作品です。表紙に掲載しているのは、「路地を通り抜けると」。光島さんが百万遍近辺の路地を通り抜けた瞬間に感じた開放的な情景が、ダイナミックな構図と色使いで表現されています。裏表紙は「竹のリズム」。大胆な曲線に沿って幾何学的なモチーフが連続するこちらの作品は、光島さんがかつて、サンフランシスコの空港にあった竹の植栽に触れた時の感覚を表現したといえます。

10歳頃に失明した光島さんは、大谷大学文学部哲学科を卒業後、鍼灸院を開業。鍼灸を生業としながら作品を制作。ラインテープとカッティングシートを用いた「さわる絵画」をはじめ、手で触られる素材を作品に取り入れ、鑑賞体験の幅を広げています。2020年にはアートギャラリー兼制作アトリエの「アトリエみつしま」を開業。触覚に着目した作品の展示やイベントなどが開催されています。今回掲載した2点の作品は、6月7日(土)から7月26日(土)まで開催の京セラギャラリー 2025 年夏季特別展「表現のそれから - アートと障害のアーカイブ・京都 -」にて展示されています。(12ページ参照) ぜひご覧ください。

(画像提供: art space co-jin 「アートと障害のアーカイブ・京都」)

アートと障害のアーカイブ・京都
<https://kyoto-aapd.jp/>



ハンケイ5m

手をのばせば
すぐふれられる。
そんな世界を知るマガジン

vol.16

CONTENTS

表2…………… ショップのハンケイ 5m
「接客茶道研修」

FEATURE 1

02…………… 社会福祉法人南山城学園
岡崎貴志さん

株式会社アドナース

鎌田智広さん

FEATURE 2

06…………… ikitoko+iko プロジェクト
ハンケイ 5m 和文化おもてなし隊
ハイヒール・フラミンゴ

10…………… 俊朗の映画話
薬剤師 DJ の音楽論

11…………… ホホホのすすめ
人形つかいパペの話

12…………… PICK UP NEWS
私が半径5m で見つけたおすすめスイーツ

13…………… ハンケイ 5m vol.16 発行にあたり
RECOMMENDED CINEMA

ハンケイ5m 「接客茶道研修」始めました！

株式会社アドナースは、訪問看護・介護の心遣いを深めるため「接客茶道研修」を取り入れています。この度、この研修が、ショップの「ハンケイ5m」で外部の方も受講できるようになりました。

講師を務める茶道裏千家準教授・田中賀鶴代先生は、「客人の心を思いやる気持ち。それが集結したものが茶道」と語ります。襖の開け方からお盆の向きまで、茶道の所作は、たとえば名刺を受け取るシーンなど、心のこもったビジネスマナーへ繋がります。日々の業務に即役立つ研修として、すべての業種の方におすすめです。

お問い合わせは ハンケイ5m 辰尾佳音 hankei5m@adnurse.co.jp まで。



受講者
コメント

株式会社意匠京念珠板倉 代表取締役 辰尾由佳さん



コロナ禍で冠婚葬祭が変化し、念珠の需要も変わる中、私は父から急遽家業を継ぎました。知識不足で途方に暮れる中、田中先生と出会い、伴走型の指導で営業から人脈作り、そして娘の就職まで支えられました。特に、商談で茶道を取り入れ、抹茶とお菓子で相手をもてなした経験は、深い信頼関係を築く上で大きな効果がありました。茶道は、私の仕事と人生に欠かせない要素です。

主催・
研修採用企業
コメント



株式会社アドナース 代表取締役 鎌田智広（訪問看護認定看護師）

株式会社アドナースでは、社員教育の一環として茶道研修による接客マナー向上を目指しています。日本の介護を海外展開していくうえでも、日本文化を身につけていくことは、自分達の強みになると考えています。先日は、ロンドンのミュージックセラピーセンターで、その成果を披露し非常に高い評価をいただきました。今後も全社員が茶道の初級の資格を取れるように取り組んでいけたらと思います。



研修に使っているテキスト
『訪問看護おもてなし
接客マナーハンドブック』



研修の
詳細はこちら

こんな方に最適！

「リーダーシップの基礎を学び、自信を持ってチームをまとめたい方」
「チームの課題解決力を高め、成果を最大化したい方」
「組織全体の戦略立案や意思決定力を高めたい方」
「礼儀作法、心遣い、ビジネスマナーをイチから学びたい方」

こんなことが身につきます！

「リーダーとして必要なコミュニケーションスキルや問題解決能力」
「変化の激しい時代に対応できる、柔軟な思考力」
「周囲を巻き込み、変革を成功に導くリーダーシップ」
「心のこもったビジネスマナー」

ハンケイ5m

京都市下京区烏丸通四条下ル からすま京都ホテル内1F(京都市営地下鉄「四条駅」南出口6番 徒歩1分)／OPEN 水・木・金 13時～18時／TEL. 080-8500-8236／運営:株式会社アドナース
臨時休業は、Instagramでお知らせします。



ハンケイ5m Instagram

今年も祇園祭宵山・宵々山イベントを開催！
詳細はこちらをチェック！



ハンケイ5m公式HP

お店の情報は
こちらをチェック！

「あつまれ! ハンケイ5m」

【放送日時】毎週月曜 11:00～11:06 / FM79.7MHz 京都三条ラジオカフェ



過去の放送は
京都三条ラジオカフェの
ホームページから

無料ラジオアプリ
「Listen Radio(リスラジ)」で、
聴取可能です！

株式会社アドナース・ハンケイ5mは EXPO 2025 大阪・関西万博 フェスティバル・ステーションにて、8月24日(日)に催事出展します。

「人を支える人を、支える」。その先にある幸せを考える、福祉。

看護師を経て、訪問看護・介護の会社を立ち上げた

鎌田さんと、福祉政策を学んだのちに、

社会福祉法人に勤める岡崎さん。

福祉の業界で挑戦を重ねる2人の目に映る、

福祉の可能性とは？

「人を支える人を、支える」をキーワードに話し合った。

社会福祉法人南山城学園
法人本部 事務局 理事長補佐
岡崎貴志さん

株式会社アドナース
代表取締役・看護師
鎌田智広さん

「支える人を支える」が
社会の輪の中に「働く」場所を

——お2人の来歴は同じ福祉業界で
ありながらも、まったく異なります。

鎌田 僕はもともと、病院の血液内科病棟で看護師として勤務していました。病棟だけではなく訪問看護も経験し、障害がある方たちと接する機会もありました。当時、いくつもの事業所に訪問して感じたのは、福祉の現場で働く介護職の方たちから、看護師がめっちゃくちゃ嫌われているということです。

岡崎 そうなんですか。

鎌田 看護師は医療上のリスク管理を最優先に考えるので、障害がある方や高齢者の支援においても、「あれとこれはしてはいけない」とすぐに禁止しようとする。「やりたいことをさせてあげたい」という福祉職との間にギャップが生じていたんですね。

岡崎 発想が違いますよね。

鎌田 「支援を受ける方にとってよい

ことをしたい」という思いは同じなのに。そのギャップに向き合っていけば、もっと優れた福祉サービスを生み出せるはずだと感じました。僕らアドナースが追求する一つのテーマに「医療と福祉をつなぐ」があります。

岡崎 医学的な観点だけでなく、社会的な視点で「その人にとって、何が幸せなのか」を考えることは重要ですね。私だって、身体に悪くてもたくさんお酒を飲むこともあります。障害が



ある方だって、いろいろとやりたいことはあるはず。私は鎌田さんのように現場経験者ではないのですが、共感します。

鎌田 岡崎さんはどんな経緯でこの業界に進まれたのですか？

岡崎 大学と大学院で社会保障政策を研究し、福祉に関する政策論を学んできました。福祉の業界団体で働いた後、現在は南山城学園で、人材採用と企画広報を担当しています。福祉の現場で働く人たちが、やりがいをもって働けるよう、「人を支える仕事をする人」を支えたい。そんな思いがあります。

鎌田 僕は「人を支える仕事をする人」が、誇りをもって働ける環境をつくりたいんです。アドナースでは、訪問看護や訪問介護で働く方たちにとって、「望ましい会社」にすることを、運営の基本に置いています。現場で働く方たちを、環境面でも経済面でもサポートすることは、福祉サービスを必要とする方々に、よい看護・よい介護を提供することにつながっていると確信しています。

「障害者は支えるべき」という
一方的なイメージを超えて

——「人を支える」は今回の対談のキ

ーワードですね。当事者の方々にって、理想的な「支える」って、どういうことなのでしょう？

鎌田 障害福祉に関わり始めた頃に、車椅子を利用している女の子と話す機会があったんです。僕はどうしたらいいのか全然わからなくて、思い切った彼女に「どうしたらいい？」と質問したんですよ。そうしたら、「いや、普通でいい。普通に会話して、対応してくれる？」と言われたんです。その返答が、当時の僕にとっては衝撃でした。なんらかの障害があることを、僕は「特別」ととらえていた。でも彼女にとっては車椅子を利用していることが「普通」なんです。

岡崎 そうですね。人によって「普通」って全然違いますね。

鎌田 「障害者は支えるべき相手」といった一方的なイメージではなく、相手の目線や価値観から物事を考えた時に、壁がなくなり、福祉の可能性が大きく広がると気が付きました。

岡崎 同様の観点で、私たちの挑戦を紹介させていただきます。障害者支援施設にとって、以前あった閉ざされたイメージを払拭することや、地域住民の方々との関係性をどうつくるかは一つの課題です。

鎌田 確かに。地域との良い関係を築

を支える側」にもなれる。一方通行ではなく双方向的。そういう形の取り組みが、必要だと考えています。

鎌田 すばらしい。福祉の可能性を広げていますね。

利用者さんの幸せを考える仕事
「実はクリエイティブ」

——あらためて、福祉の仕事はどんな仕事だと思われませんか？

岡崎 医療や科学は、誰がやってもできるような普遍的な手法であることが求められます。その一方で、福祉や介護、ケアは、きわめて個性が高い領域です。医療のように普遍的でありながら、利用者さんそれぞれの個別的な状況を尊重して、実際のサービスにどう反映するか。「いかにケアをデザインしていくのか」を考えるのが、福祉の仕事。それは人の「生きる」を支える、とてもクリエイティブな仕事です。

鎌田 岡崎さんのおっしゃるとおりです。でも、福祉の仕事をそういうふうにとらえている人はあまりいないし、世間でもそう考えられてはいないでしょうね。ただ、『ハンケイ5m』の取材で登場した方々のように、近年、福祉に携わる人たちが、10年前と比べて変わってきているなと感じます。ものづ



くりやアート関係といった、クリエイティブな仕事をしていた方が、福祉業界に入って来られるケースも多い。案外それはハマっているんですね。

岡崎 南山城学園にもいろんな経歴の人が入職してくれています。さらにいえば、職員のみなさんには、DX推進やICTを活用して、得られた時間を本来のクリエイティブな仕事に使ってほしい。やはり「人を支えるのは、人

しかない」です。例えば、眠れないとき、Aが監視するより、だれかが「眠れないですか」と声をかける方がきつと心が楽になる。福祉業界が目指すべき生産性は、単なる業務の省略化ではなく、今、目の前にいる利用者さんを支え、その方がハッピーになるような専門性や能力を発揮することだと思います。先ほどの、人によって「普通」が違うという話につながりますね。

鎌田 はい。人はめいめいの当たり前が異なるように、幸せも違います。概して地味な仕事と思われがちな福祉の仕事ですが、人の幸せを考えるという観点でいえば、とてもクリエイティブ。あまり知られていないので、今後もしっかりと発信していきたいですね。

岡崎 発信の大切さは感じています。そして私も、利用者さんの幸せと「支える人を支える」ためになができるか。考え続けていきます。



くことは大事ですね。

岡崎 はい。南山城学園がある城陽市は古くから茶業が盛んです。地元の茶農家の方々は今も、よしとわで茶の木を覆う、伝統的な「本簾製法」で、抹茶の原料となる茶葉を育てています。しかし、高齢化が進む茶農家は後継者不足という課題があります。そこで、地元の茶農家の方たちと連携し、南山城学園の若い職員や利用者が本簾のお手伝いをしています。地元の方と社会福祉法人がコラボレーションすることで、地域の課題解決につながっているんです。

鎌田 いいですね。茶農家の方にとっては、人手不足対策になりますね。

岡崎 そうなんです。障害のある方は「支えられる」側だったのが、「地域

社会福祉法人南山城学園

京都府南部で障害者支援施設などを運営する南山城学園(京都府城陽市)は今年で創立60周年。「人を支えるのは、人」という信念を大切に、障害者や高齢者の福祉事業をはじめ、生活困窮者支援や地域生活定着支援、カフェの運営など、約40施設を運営する。
<https://minamiyamashiro.com/>

株式会社アドナース

京都市西京区にある株式会社アドナースは、訪問介護、訪問看護、居宅介護支援、児童支援を軸に子どもからお年寄りまで地域の介護の仕事を担う。音楽療法や、車椅子での茶道活動の応援、ラジオやフリーマガジンによる情報発信といった取り組みを重ねる。
<https://adnurse.co.jp/>





行けるところではなく、 行きたいところへ行こう

～綺麗をあきらめない～

ハンケイ5m 和文化おもてなし隊×NPO法人ハイヒール・フラミンゴ
ikitoko+ikoプロジェクト、
大阪・関西万博でコラボイベント開催

「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、大阪市此花区の夢洲で開催中の2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）。世界各国のパビリオンをはじめ、国内外の多様な文化や最先端の科学技術、斬新なアート体験に触れられる大阪・関西万博に、株式会社アドナースが参加することが決定した。「行けるところではなく、行きたいところへ行こう」綺麗をあきらめない」をコンセプトとして、8月24日に1日限りの特別イベントを万博会場内で開催する。プロデューサーの辰尾佳音さんは「固定概念に縛られず、自分の可能性を信じて挑めば、夢は叶えられる。大阪・関西万博でのイベントを通して、やりたいことにチャレンジするきっかけを多くの人たちへ届けたい」と思いを語る。



6月15日に行われた記者発表後の集合写真。

コンセプトに掲げた「行けるところではなく、行きたいところへ行こう」というキーワードから、「ikitoko + ikoプロジェクト」と名付けられた今回のイベント。車いす利用者も楽しめるテーブルとする茶道「盆略点前」や、座った状態でもおしゃれに見える「#すわりコーデ®」の普及に取り組んでいるハンケイ5m和 문화おもてなし隊と、義足ユーザーの女性たちのコミュニティを運営するNPO法人ハイヒール・フラミンゴ（大阪府大東市）がコラボレーションして実現した。

両者をつないだのは、全くの偶然から始まった不思議な縁。茶道講師を務め、「盆略点前」を広めている田中賀鶴代さんが昨年、転倒事故で左足を痛めて約半年間の車椅子生活を送ることになった。この時、田中さんが車椅子のレンタルのために、病气や事故で手足を失った人たちの義肢装具を制作している川村義肢株式会社（大阪府大東市）を訪れた。

そこで知り合ったのが、同社の福祉用具専門相談員で、ハイヒール・フラミンゴの代表を務める野間麻子さんだ。2人は偶然の出会いから、お互いの活動や理念に共感。今回の大阪・関西万博へのイベント出展につながった。

世界に向けて発信する。

また、ハイヒール・フラミンゴのメンバーが演じるオリジナル朗読劇は、主人公の女性「ノリコ」が、義足の仲間とつながり、ありのままの自分を見つける生き方を描く。当事者の視点から綴られるノリコの物語は、障害の有無を超えて自分らしく生きる、全ての人たちに向けたメッセージだ。このほか、プロのジャズ演奏者たちによる音楽ライブも行う。

辰尾さんは「ファッションショーといえば『ランウェイをモデルさんが歩いて、ポーjingする』という固定観念があるかもしれませんが。車椅子に乘ったり、椅子に座ってポーjingする『#すわりコーデ®』の

8月24日のイベントは「#すわりコーデ®」プレゼンテーション、朗読劇、音楽ライブの3部構成だ。

トークショーを担うのはハンケイ5m和 문화おもてなし隊隊長の加藤千明さん。友人の石寄さんの遺志を継ぎ、「#すわりコーデ®」を発展させた。5歳で車椅子ユーザーとなつてからの活動を振り返り、未来に向けた思いを語る。既製服を車椅子ユーザー用にリメイクするだけでなく、立ち姿と同様に、座り姿の美を楽しむファッション、「#すわりコーデ®」の魅力を日本語と英語と手話で紹介する。

ファッションショーでは、アドナースの利用児さんもモデルを務める。車椅子のまま着用できる、なかの孝の着物や、上下セパレートで7通りの着こなしが楽しめる「7wayコート」を紹介。新しい切り口のファッションや、着物文化の楽しみを

盆略点前、#すわりコーデ®、朗読劇、着物プレゼンテーション。 バリアフリーの大阪・関西万博でのイベントで、皆の思いを届ける。

ファッションショーで、これまでの当たり前や決め付けを刷新したい。多様な視点を提案することで、見る人それぞれの価値観をアップデートしてほしい。障害や制限があっても夢を諦めず、そこから見出した大きな自由の世界を、万博の会場から世界へと共有していきたい」と話している。

6月15日にイベントを開催

写真は、イベントに先駆けて、6月15日に京都府長岡京市のなかの邸で開かれた、イスとテーブルで茶道を楽しむ「盆略点前」の体験会。茶道裏千家準教授でもある田中賀

鶴代さんが、誰もが気軽に楽しめる「盆略点前」の魅力、茶道の多様性について話した後、加藤さんが亭主を務め、お点前を披露。続いてハイヒール・フラミンゴのメンバー6人が、それぞれ亭主となり、参加者に抹茶をもてなした。

その後、希望に応じてテーブルで抹茶点での体験が行われた。テーブルの上に置いた盆に茶碗、茶せん、^{なつ}棗などの茶道具を並べ、田中さんや加藤さんに教わりながら、参加者は心を込めて一碗の茶を点てた。

最後の記者発表では、それぞれの代表が、8月の大阪・関西万博でのイベントに向けての意気込みを発表。全員で記念撮影をして幕を閉じた。

行けるところではなく、行きたいところへ行こう ～綺麗をあきらめない～

株式会社アドナース・ハンケイ5m 和文化おもてなし隊×NPO法人ハイヒール・フラミンゴ
ikitoko + ikoプロジェクト（後援：京都府、京都市）

日時：8月24日（日）16時開場 16時半開演

場所：大阪市此花区夢洲の大阪・関西万博会場内のフェスティバル・ステーション（大阪・関西万博）※フェスティバルステーションの予約は不要ですが、大阪・関西万博への入場には入場チケットや来場日時の事前予約が必要です。詳しくは2025年国際博覧会（大阪・関西万博）の公式サイト（<https://www.expo2025.or.jp/entranceguide/>）から。



（写真上）着物ドレスを着て「盆略点前」でお茶を点てるハンケイ5m和文化おもてなし隊隊長の加藤千明さん。（写真中）プロデューサーの辰尾佳音さん。（写真下）ハイヒール・フラミンゴのえりさん。



ハイヒール・フラミンゴのこずえさん（左）、マリンさん（右）

Recommended
Movies

俊朗の映画話

年間100本映画を見る
俳優・福山俊朗の映画コラム



福山 俊朗

神戸大学在学中に劇団そとばこまちに入団、15年間に在籍しフリーに。舞台・テレビ・映画に多数出演。FMラジオのDJ、歌のお兄さん、映画監督などマルチに活躍中。

ロザリーは生まれつきの多毛症で、そのことを周囲に隠して生きてきました。見ず知らずのアベルに支度金を渡して結婚することになり、初夜に初めてアベルはロザリーの体のことを知り激怒します。ですがロザリーは彼が営むカフェを手伝い始め、自らを見せ物にするために髭を生やして店に出ます。

1870年代の小さな村が舞台なので、人より毛深いというだけで差別も偏見もあからさまです。それまでビクビクしながら生きてきた彼女はある時スイッチが入り、自分を受け入れる覚悟をするんですね。その後は勇気や度胸、死にたいほどのコンプレックスを抱えながらも明るく努力する健気さで、自分のポジションを自らの手で掴んでいきます。

それに引き換え周りの人たちの情けなさよ！ 異質なものに対する偏見↓自分に害がないと確認し容認↓権力者に言われてまた疎外、という流れ。自分の考えで行動していない

ので、ちょっと声の大きい人にすぐつられてしまうんですね。でもこういう風潮はいつの時代もどこの世界も同じで、とどのつまりは人間というのはそういう生き物なんだろうと悲しくなりました。

その中で何ヶ月もかけてアベルとロザリーの間に絆が生まれ、初めて二人が結ばれるシーンはとてもとても美しく、泣きました。ラストはいろいろと想像させられる終わり方でしたが、なんとか二人には幸せになつてもらいたいと祈るばかりでした。

ロザリー

2023/フランス・ベルギー
監督:ステファニー・ディ・ジュスト
出演:ナディア・テレス
キウィッツ プノワ・マジメル
©2024 - TRÉSOR FILMS - GAUMONT - LAURENT DASSAULT ROND-POINT - ARTÉMIS PRODUCTIONS



Recommended
Books

ホホホのすすめ

ホホホ座座長・山下賢二が
語るおすすめブックス談



山下 賢二

出版社勤務や書店員などを経験し、2004年に「ガケ書房」を開業。2015年移転・改名し、本もお土産というコンセプトの店「ホホホ座浄土寺店」をオープン。

小説家としての村上春樹はあまり肌に合わないが、翻訳家としての彼は非常に好きだ。これまで読んできた外国文学は、彼が訳した作品が多い。レイモンド・カーヴァー、ティム・オプライエン、ジョン・アヴィング、スコット・フィッツジェラルドなど。もちろん手に入れやすかったというのが一番の理由だが、特にカーヴァーとオプライエンはその名前があるだけで買ってしまう。

今回の『月曜日は最悪だとみんなは言うけれど』は村上春樹翻訳ライブラリーの一冊として刊行されたアンソロジー。ほぼ二十年前の本なので古本屋でたまたま見つけたときは即買いた。なぜなら前述の最悪の作家たちのエッセイやインタビュー、さらにはまた別のご最悪作家、トム・ジョーンズの村上春樹訳も収録されていたからだ。

全体的にへヴィーな話が多い。冒頭からレイモンド・カーヴァーへの暴露的検証エッセイからはじまる。



月曜日は最悪だとみんなは言うけれど

村上春樹 編訳
(中央公論新社)
1,320円(税込)

Recommended
Music

薬剤師DJの音楽論

ゆう薬局の薬剤師による
イチオシ音楽紹介



船戸 一晴 (キャッチー船戸)

ゆう薬局の薬剤師、ラジオパーソナリティ、DJ。FMたんご：みゅ〜じゅくばふえCatchy(水曜12時〜)。FMまいづる、Radio Mix Kyoto: Premium Kyoto(月曜16時〜)。

今回は、「音楽が命を救う」ことを証明してみせた一曲をご紹介します！
Logicが2017年に発表した「1800-273-8255 ft. Alessia Cara, Khalid」。このタイトルは、アメリカの自殺防止ホットラインの番号であり、楽曲そのものが「生きる希望」をテーマに据えたメッセージソングです。

当時のMTV Video Music Awardsでのパフォーマンスでは、自殺未遂から生還した人々とその支援者たち数百人を背後に迎えながら楽曲を披露。白いTシャツには「You Are Not Alone」の文字。そして、歌い終えたLogicが力強くこう訴えたのが印象に残っています。

「黒人、白人、ゲイ、ストレート、トランスジェンダー、そしてすべての人々へ——あなたは存在する価値がある。あなたは生きていいんだ」

この言葉に救われた人が実際に存在します。リリース後、ホットライン

の通話件数は劇的に増加し、自殺率にも一時的な低下が見られたという実績まで残されました。音楽が社会的メッセージを発するだけでなく、命の現場にまで届いたという事実。この一曲が持つ力に、私たちは今も立ち止まって耳を傾けるべきではないでしょうか。

過去にご紹介したDoechiiのように、ヒップホップはしばしば「強さ」や「抗う姿勢」を表現するジャンルと見なされがちですが、この曲は真逆です。むしろ「弱さを語る勇氣」こそが、何よりも強さなのだということを教えてくれます。

もしあなたが、あなたの周りの人が「誰かに話を聞いてほしい」と思ったとき、この曲やこの記事がそのきっかけとなり、適切な相談窓口へと繋がることを心から願っています。



1-800-273-8255
ft. Alessia Cara, Khalid

Logic
(Visionary Music Group and Def Jam Recordings)

Recommended
Entertainment

人形つかいパペの話

最小のキャパで
最高のエンタメを！
人形つかいパペの奮闘記。



人形つかいパペ (佐藤譲)

京都大学卒業後、スタジオジブリに入社。雑誌編集職を経験し、日本テレビへ転職。映画プロデューサーとして活躍後、独立。現在、人形つかいとして、京都を拠点に活動。

静岡県浜松市の防災学習センターに、人形つかいとして呼んでいただきました。防災をテーマにした1時間。親子だけでなく高校生も参加し、2歳から50代の総勢40人が集う空間で、どんな体験をしようか？

まず15分ほどの短い人形劇を披露しました。2人の人形が仲良くなっていく物語です。クライマックスでは、1人の人形が夢の中で釣りをしていると、高波が迫る気配が。「どうしようー」。もう1人の人形が参加者に「何か良いアイデアをおしえて！」と問いかけます。

4〜6人のグループに分かれた参加者に、人形を助ける案を考えてもらいます。親子だけでなく高校生が交わります。子どもがお姉さん、お兄さんと話す姿に、保護者の方々も嬉しうでした。

各グループのアイデアをもとに、私が即興で人形劇にしました。まっすぐな正義感を持つ子どもたちは、まず高い場所へ一目散に逃げるとい



子どもたちのアイデアを、その場で人形劇にしてい

ハンケイ5m

手をのばせば
すぐふれられる。
そんな世界を知るマガジン

vol.16 発行にあたり

同じ景色でも、
人が違えば感じ方も違う。
だから面白い。
久野泰輝(編集)

命を救った音楽。
すごい!
木村実那子(編集)

映画コラム担当・福山俊明さんの
新作映画『Moonlight Club in NY』。
たくさん笑って、優しさがじんわり胸に残る、
心があたたかくなる映画でした!
田代佳世(記述)

行きたいところへ行こう!
世界は広くて小さい!!
人生めいっぱい楽しもう!!
辻正美(カメラ)

人によって「普通」は全然違う。
鎌田さんのエピソードに、
ハッとさせられました。
鈴木穂乃(編集)

人を支える人にも、支えが必要。
その充実が、クリエイティブな福祉に
つながると知りました。
円城新子(編集)

既成の倫理や道徳では抱い取れないような、
艶かくしく温かい「なにか」。
ケアという営みは、そんな根源的で
官能的な人間らしさを包み込んでいる。
龍太郎(ライター)

絶妙なバランスのリズムカルな光島さんの作品。
触ってみるとまた違う一面が楽しめそうです。
北原靖浩(デザイン)

作家が出合った景色を
自分の肌で追体験する。
光島貴之さんの「さわる絵画」に
ふれてみたい。
森 華(デザイン)

「人を支えるのは人しかない」
身近な人とのつながりを
大切にしていきたい。
中山みゆき(編集)

還暦を迎えど、
まだまだ頑張ろう。
今号から携わります。
今西拓人(編集)

AIが猛スピードで発達する時代に
人間しかできないことは何か。
考え続けていきます。
呉玲奈(編集)

ハンケイ5m

手をのばせば
すぐふれられる。
そんな世界を知るマガジン

2025年7月5日発行

発行 株式会社アドナース
京都市西京区大原野西境谷町2丁目14-10
075-754-6174
株式会社ユニオン・エー
京都市左京区北白川西平井町22-2
075-724-0410

企画・制作 株式会社ユニオン・エー

Staff 円城新子
呉玲奈
中山みゆき 鈴木穂乃 久野泰輝
木村実那子 福島明彦 田代佳世
今西拓人
龍太郎
辻正美
北原靖浩
もりはなぐみ

スペシャルアドバイザー 鎌田智広

RECOMMENDED CINEMA

京都シネマおすすめ映画



7/25(金)公開
私たちが光と想うすべて
PG12 | All We Imagine as Light |
2024 | 仏・印・他 | 118分 |
監督: バヤル・カパーリヤー
出演: カニ・クスルティ

©PETIT CHAOS - CHALK & CHEESE FILMS
- BALDR FILM - LES FILMS FAUVES -
ARTE FRANCE CINEMA - 2024
https://watahika.com/

看護師ブラバとルームメイトで同僚のアヌは、立ち退きを迫られて故郷に帰ることになった友人を見送るため、大都会ムンバイから海辺の村ラトナギリへ旅することに……。ままならない人生に葛藤しながらも自由に生きたいと願う女性たちの友情を、光に満ちた淡い映像と夢のように詩的で幻想的な世界観で紡ぎ出した。これまでのインド映画とは一線を画すビター・スイートな一作。

上映情報のご確認はこちら

京都シネマ www.kyotocinema.jp
📍京都市下京区烏丸通四条西側 COCON烏丸3F ☎075-353-4723

アップリンク京都おすすめ映画



8/29(金)公開
海辺へ行く道
2025 | 日 | 140分 |
監督・脚本: 横浜聡子
出演: 原田琥之佑、
麻生久美子、高良健吾、
唐田えりか、剛力彩芽

配給: 東京テアトル、ヨアケ

アーティスト移住支援をうたうある海辺の街を舞台に描く、横浜聡子監督最新作。何やらあやしげな“アーティスト”たちが行ったり来たりするこの街でのんきに暮らす14歳の美術部員・奏介とその仲間たちは、大好きなモノづくりをしながら、縦横無尽のイマジネーションでどこまでも世界を愉快にする。すべての登場人物が愛おしく、優しさとユーモアに満ちた、ちょっとおかしい人生讃歌。瀬戸内国際芸術祭2025参加作品。

上映情報のご確認はこちら

アップリンク京都 <https://kyoto.uplink.co.jp/>
📍京都市中京区烏丸通姉小路下丸場之町586-2 新風館 地下1階 ☎075-600-7890

PICK UP NEWS

TOPIC 1

ハンケイ5mのラジオ番組

「あつまれ! ハンケイ5m」放送中!

京都のコミュニティFM・京都三条カフェラジオにて毎週月曜日11時から放送している「あつまれ! ハンケイ5m」。ハンケイ5mに関わる人をゲストに招き、楽しいトークを繰り広げています。直近の放送回では、EXPO2025 大阪・関西万博に関連したお話が盛りだくさん! 7月は和文化おもてなし隊の加藤千明さん、8月はNPO法人ハイヒール・フラミンゴの野間麻子さんがゲストに出演予定です。ぜひご視聴ください!



パーソナリティを務めるのは、ハンケイ5m店長兼プロデューサーの辰尾佳音さん

「あつまれ! ハンケイ5m」

【放送日時】毎週月曜 11:00~11:06 / FM79.7MHz 京都三条ラジオカフェ



過去の放送は
京都三条ラジオ
カフェのホーム
ページから



無料ラジオアプ
リ「Listen Radio
(リスラジ)」で、
視聴可能です!



万博に向けた最新情報
はInstagramから!

TOPIC 2

荒神口に佇むギャラリー

art space co-jinが主催する2つの展覧会!

きょうと障害者文化芸術推進機構が運営するart space co-jin。本ギャラリーが主催する、現在開催中の展覧会情報をお知らせします。

Catchy Catch

ロゴタイプやシンボルマーク、TV番組のタイトルロゴなどといった「キャッチー」なモチーフを独自の手法で表現する、富田晃生さんとM.O.さん。両名の作品や、創作風景の映像がart space co-jinにて展示されています。

【日程】2025年5月7日(水)~8月3日(日) 10:00-18:00 月曜、火曜休廊
【会場】art space co-jin
〒602-0853 京都市上京区河原町通荒神口上ル宮垣町83 レ・フレール1階



京セラギャラリー 2025年夏季特別展 表現のそれから - アートと障害のアーカイブ・京都 -

きょうと障害者文化芸術推進機構のデジタルアーカイブを行った23名の作品が一堂に集結。制作に関わる未公開資料映像などと併せて、京セラギャラリーにて展示されます。京セラ・京都府・art space co-jinの三者の連携により実現した特別展です。



【日程】2025年6月7日(土)~7月26日(土) 10:00-17:00
休館日: 日、祝日及び、特別休館日
【会場】京セラギャラリー 〒612-8501 京都市伏見区竹田鳥羽殿町6番地 京セラ本社ビル1F

アドナースpresents 私が半径5mで見つけた

おすすめスイーツ

アドナース京都音楽療法センター
管理者/音楽療法士
三好日帆

この写真を見て「お!」と思う人は相当のジブリマニア。今回はジブリパーク内にあるグーチョキパン屋の「ビスコット」をご紹介します。魔法の宅急便に出てくるメガネの少年が「ください!」と買っていたあの焼き菓子。なかなかの固さですが、本来は珈琲などに浸しながら食べるそうです。甘い焼き菓子の匂いも最高! お店に行かれた際には、ぜひおひとついかがですか?

